

学校経営管理全体計画 (構想)



栗東市立栗東西中学校

教育目標：心豊かで たくましい 生徒の育成

校訓：「自主自律」「不撓不屈」「協心協力」

- ★日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領などの関係法規
- ★滋賀県や栗東市の教育振興基本計画・教育方針
- ★中学校区としての取り組み
- 子育て教育Nextプロジェクトの推進

【めざす生徒像】

「自立できる生徒」

- 自分を大切にできる生徒
- 人を大切にできる生徒
- 目標を持ち、夢に向かって進む生徒

【めざす学校像】

「人間の尊厳」と「生命の尊重」の実践校

- 1 人権・同和教育を根幹に置いた学校づくり
 - 教師も生徒も互いに磨く人権感覚
 - 基礎学力の確かな定着とさらなる向上
- 2 学校・保護者・地域との連携による学校づくり
 - 信頼と活力に満ちた風土の醸成

【めざす教師像】

- 生徒に寄り添い、生徒とともに頑張る教師
- 団結し、高め合う教師
- つながりを大切にできる教師

〈本年度の重点目標〉 スローガン：『好きです 西中 つながる学校』

生徒の確かな学びと安全な生活を確保するため、毎日来たくなる学校を目指し、以下のことについて取り組みます。

- ①生徒一人ひとりが居心地の良い、生き生きと活動できる集団づくりに努めます。
- ②生徒の自主的・自発的な学習習慣を定着させるとともに、わかる・できる・楽しい授業の工夫改善に努めます。
- ③家庭や地域との連携や教育相談など生徒の実態把握に努め、いじめや不登校、問題行動の防止に努めます。
- ④あいさつや言葉遣い、服装、清掃など基本的な生活習慣の定着を図るよう指導に努めます。

学校経営の柱と具体的方策

校内研究推進委員会

- 研究主題
「自ら意識して非認知能力を伸ばそうとする態度を育てる」
～毎授業の振り返りを通して～
- ねらい
学習内容を習得する活動を通じて、生徒自ら非認知能力を育むことを意識し心豊かな人格形成を図る
- 研究の内容及び方法
・『授業の振り返り』の中で身につけたい非認知能力を意識できたかの項目も含めて実施する。
・学活や道徳、学年行事や総合的な学習などあらゆる場面でP/Cを使う機会を創造し、効果的に取り入れる方法を探る。
・教科を中心に計画(plan)し、実践(do)を重ね、学習状況調査の分析や学校評価で確認(check)しながら、研究授業での交流・評価の機会とし、改善(action)を進める。
・教職員全員が授業実践の報告をし、生徒が意識して取り組みやすい自己評価の方法を模索して取組をより一層進める。
・「自分と向き合う力」、「自分を高める力」、「他者とつながる力」の育成を意図した授業づくりにチャレンジする。

人権・同和教育推進委員会

- 推進目標
(1)差別を許さず、共に支え合い、共に高まり合える集団づくり
(2)正しい人権認識と実践力を養い、確かな将来の展望をもつ子どもの育成
- 取り組み内容
①被差別地域の子どもへの支援体制の確立
②ヒューマンタイムの計画と実施
③集団づくり
④人権週間の取り組み
⑤西中ほっとタイムの企画・運営
⑥職員研修の企画・運営
⑦学校と諸機関との連携
(PTA人権教育推進委員会・会員研修部を含む)
- 活動の重点
①被差別地域の子どもへの支援の強化
②ヒューマンタイムの取り組みの計画的な実施
③職員研修の充実
④保護者・地域との連携
⑤生徒発言に対する取り組みの継続
⑦豊かなつながりと非認知能力の育成

特別支援教育校内委員会

- 特別支援教育の方向性
全教職員が丸となって取り組む特別支援教育～「インクルーシブ教育システム」の構築～
- 今年度の目標と具体的な実践計画
①特別支援教育推進のシステムづくり
・研究推進委員会の充実
・各学年・担任・教科担当からの早期の情報収集
・月次支援方針による実践
②早期の実態把握と支援・配慮の実施
・気になる生徒の早期の実態把握と支援・配慮
・支援レベル②・③のIEP等の作成の継続
③個別支援のサポート
・「ことばとまなびの教室」「発達支援室」との連携
・ソーシャルスキルトレーニングの取り組み
・特別支援員制度の活用
④保護者懇談のサポート
・保護者に対する相談窓口としての役割
⑤外部関係機関との連絡調整
・巡回相談の実施(年2回)
・特文コーディネーター会議との連携
・医療・福祉との連携

生徒指導推進委員会

- 生徒指導の指針
生徒の本質に寄り添った指導と支援
①生徒との日常的な関わりと信頼関係づくり
②生徒の実態に応じた指導・支援計画の作成
③保護者・家庭との連携・協力
- 生活指導部の活動目標と方点
・未然防止の指導の実践と迅速な問題行動対応の推進
・規律ある学習環境の保全と特別活動等での人と繋がる力の定着
・適切な初期対応と未然防止を目指す予見的な生徒指導
①丁寧な情報収集と確かな記録
②基本的な生活習慣・規律に関わる指導の継続、未然防止の徹底
③いじめアンケートにおける丁寧な指導
- 生徒支援部の活動目標と方点
すべての生徒に安心を保障するしくみづくり
①「受容・承認」役を果たすこと
②暴力やいじめ被害生徒の救済支援を進めること
③症状をかき消すことより、心の元気を保つスキルを与えること
④保護者と担任のつながりを支えること

人権・同和教育の推進

【学校協議会の提言】

学校・家庭・地域・保護者との連携強化
(*年間3回の開催)

【評価指標】

・学校関係者評価－保護者等(年1回)
・内部評価－教職員、生徒(年1回以上)

【評価の観点】

・学校運営全般と教育目標との関係
・目標の具体化と達成のための教育活動
・保護者や地域への啓発と連携

【達成目標】

・目標達成のための指標として、各実績評価において、高い評価をめざす。

学校評価